

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日: 2024 年 1 月 15 日
事業所名: 夢門塾ゆうゆう日吉

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	6	4	0	児童同士の相性や特性に合わせて配置を考え、対応している。
	②	職員の配置は適切である	8	2	0	適切である。
	③	衛生面の管理が行き届いている	8	2	0	週1回は玩具などの消毒を行っている。また、毎日決まった時間に換気を行っている。児童の来所時には、必ず手洗いうがいを徹底している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	5	5	0	毎日の朝礼での前日の振り返りや、企画した行事の振り返りを行っている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	9	1	0	職員と保護者様とで連絡帳などを通じて連携を取っている。
	⑥	自己評価の結果を公開している	6	4	0	毎年インターネットで公開している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	10	0	0	1~2カ月に1度、会社全体での研修の機会を設けている。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	9	0	1	各職員で意見を出し合いったり、保護者様とのモニタリングでの合意形成のもと計画書を立てている。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	10	0	0	職員同士で声を掛け合い、こまめに連携を取り支援している。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	8	2	0	週ごと、月ごとに行事を工夫している。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	6	4	0	その日や週ごと、月ごとに目標を定め行事などを企画したり、過ごす中での目標設定をして支援している。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	10	0	0	児童同士の相性や特性に応じて、時間や場所を分けて配慮しながら支援している。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	3	0	朝礼での確認や企画時点で配置等を事前に想定して企画している。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	2	0	支援中に記録を取り、毎日入力し、保存している。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	9	1	0	モニタリングを元に職員で意見を出しながら判断している。
⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	5	0	基本活動が偏らないように様々な活動を取り入れている。	

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	3	0	状況に応じて連携を取っている。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	2	7	1	会議等での情報共有をしている。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	2	8	0	近年移行対象者がいない。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3	4	機会があれば参加をできる限りしたい。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	9	1	0	送迎時に、利用中の出来事や様子・対応などをお伝えするように心がけている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	8	2	0	契約時に説明している。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	8	2	0	困っていることなどについては、事業所での対応などをお伝えし、情報交換を行っている。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	0	3	7	感染症が流行していたため、開催ができなかったが、早急な開催を検討している。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	1	0	苦情があった際には、すぐに管理者に報告し、迅速に対応している。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	5	3	2	毎月のお便りでの案内をしている。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	9	1	0	個人情報の記載されたものは必要時を除き、事業所から持ち出さないよう徹底している。持ち出す場合も管理を徹底している。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	1	0	できるだけ分かりやすく簡潔にお伝えするように意識して対応している。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	9	1	0	地元ならではのイベントなどに参加できる際は、事業所として参加している。
	非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	9	1	0
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	9	1	0	事業所で定期的に研修を行っている。
㉒		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	0	事業所で定期的に研修を行っている。
㉓		いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	6	4	0	重要事項説明書に記載がされており、契約時に説明を行っている。
㉔		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	9	1	0	与薬表の記載がないものは連絡がつけば対応し、記載がないものについては持ち帰りにいただいている。
㉕		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	9	1	0	ヒヤリハットが起こった時には、すぐに書面に残し、職員全員での確認・事業所での保管をしている。

保護者様評価、自己評価についてまとめ

行事が固定化しないように工夫をしていることをご利用を楽しみにしていただいているという評価をいただくことができました。改善点として、保護者様に日々の支援を見て頂いたり、保護者様同士でのつながり(情報交換など)の時間を企画したり、細かな連携をし、さらに安心・信頼をいただける運営を行っていきたく思います。